

## 町内の先生方が「ヤングケアラー」について学びました

8月29日(月)に小中学校の教職員約50名が「ヤングケアラー」の現状について学びました。講師として、鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課の職員をお呼びしました。

研修では、子どもや家庭だけの問題とせず、さまざまな機関で情報を共有することが大切であるという話がありました。



▲ 熱心に講話を聞く先生方の様子

**ヤングケアラーとは**…法律上の定義はありませんが、一般に本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされています。

## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間のご案内

毎年11月1日～7日は、地域が育む「かごしまの教育」県民週間として設定されています。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や大幅な制限をしておりましたが、その制限を緩和し、実施する予定です。詳細については、各学校へお問い合わせください。

さまざまな活動に対し、目を輝かせて取り組む子どもたちを応援に来てください。



### まぶい窓おしの庭

No.73

### 「MOTTAINAI」

鹿児島市教育委員会吉野公民館 主査

生野 純一(前持留小学校 教頭)

「ない♪ない♪ない♪もったいない～♪」という歌をご存じでしょうか?「やぶからスティック(棒)」等のルー語で一斉を風靡したルー大柴さん方の楽曲です。

10年以上前、当時担任をしていた5・6年生の子どもたちと総合的な学習の時間に、ワンガリー・マータイさん(ノーベル平和賞受賞)が提唱した日本の美しい言葉「もったいない」をテーマにした学習活動に取り組み、発表会の最後にこの曲をみんなで歌ったことを思い出します。

私の娘は、家庭科の教員をめざす大学生です。その娘が、高校生の頃から、自分で探してきた「子ども食堂」でボランティアとしてお手伝いをさせていただいております。私が送迎をする日もあり、車中では「子ども食堂は、子どもたちに食事を提供するだけでなく、地域に暮らす老若男女の様々な方たちの交流の場」であることや「フードロスの解消に

つながる仕組み」であること等々、会話の中で、娘が学ばせていただいたことを知ると共に、私も多くのことを教えてもらいました。「SDGs」は家庭科の学習と大きく関わっていることについてもです。

「SDGs」について知っていくと、「もったいない」との深い関わりを感じます。町内の小・中学校では、SDGs推進協議会と連携した学習を展開していく準備が進められています。世界に誇れる「資源リサイクル率十年以上連続日本一の町」大崎町の数々の取組は、まさに「もったいない」を具現化した生きた教材だと思えます。子どもたちが学んできた「SDGs」について、そしてこの広報紙「おおさき」に毎月掲載されている推進協議会からの情報等々、ご家族で話題にしてみてもはいかがでしょうか。

大崎町のよさ、自慢をご家族で語り合わないのは「ない♪ない♪ない♪もったいない～♪」ですよ。